

	A'1案	A'2案	A'3案
主な特徴と課題	<p>●特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎と体育館が一体となったL字型の配置計画。中央階段をL字型のコーナー部に設け、普通教室を東側及び南側に対称的に配置した。 学年毎のまとまりや廊下への採光に配慮した吹抜と共に、トイレ・学年スペースを置きつつ、特別教室とのつながりに配慮した。 図書室は2階の中央部に設け、利用しやすい位置とした。 学童クラブは校庭に面した1・2階に配置した。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理諸室にまとまりがなく、学校運営に課題がある。 学童が複数階にあり運営に課題がある。 校庭形状が不整形である。 	<p>●特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎と体育館が一体となったL字型の配置計画。中央階段を昇降口脇に設け、普通教室を学年毎にまとめて校舎の端部に配置した。 学年毎のまとまりを重視し、普通教室をブロックで配置することで、普通教室が各方位を向いた計画となっている。 廊下への採光に配慮して、学年スペース前にテラスを設置し、特別教室は3階L型中央部にまとめて配置した。 図書室は誰もが利用しやすく景観の良い1階緑地側とした。 学童クラブは地下1階にまとめて配置した。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭形状が不整形である。 一部西向き北向きの教室は採光・空調等について検討が必要である。 	<p>●特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎棟と体育館棟を別棟とした計画。学校のシンボリックな体育館を緑地公園に面して設け、地域のシンボルにもなる計画。同規模の階段を分散して配置し、普通教室は全て南側に配置することで、均等な環境を確保している。 図書室は2階及び3階に分散して設ける計画とした。 学童クラブは地下1階にまとめて配置した。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通教室と緑地及び校庭との繋がりが希薄である。 廊下幅員が狭い。
普通教室 (学年のまとまり、生活環境)	<ul style="list-style-type: none"> 個別教室と少人数教室、特別支援教室を含み、学年毎のまとまりで東・南面に3層で配置している。 東・南側共に陽当りは良く、緑地に面する学年のまとまりが半数のため、学年を上げるごとに交互に緑地に面する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年毎のまとまりを重視し、普通教室をブロックで配置することで、普通教室が緑地側及び校庭側の各方位を向いた計画となっている。 クラス数が増加した場合にまとまりが確保できるよう、個別教室と少人数教室も学年毎に近接して配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室を南側に並べて配置し、学年毎の間に個別教室と特別支援教室、多目的室を計画した。 少人数教室は各階1室東側に配置している。
管理諸室 (安全管理、独立性)	<ul style="list-style-type: none"> 職員室を校庭が見渡せる位置とし、その他の諸室は1階の廊下を介して分散配置している。 保健室、教育相談室は校庭に面した位置に独立して配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員室を校庭が見渡せる位置とし、その他諸室も1Fの北側にまとめて配置し、管理諸室が独立している。 保健室、教育相談室は校庭に面した位置に独立して配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員室は校庭が見渡せる位置とし、その他諸室も1F北廊下に面して並べて配置している。 保健室、教育相談室は職員室等に近接している。
昇降口・階段 (アプローチ・出入・教室への動線)	<ul style="list-style-type: none"> 外部大階段と校庭の近くに昇降口を分散配置し、児童の動線が短くなる位置とした。 主階段をコーナー部に設け、その他の階段は端部に設けることで、各普通教室からの複数の動線を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部大階段と校庭の近くに昇降口を分散配置し、児童の動線が短くなる位置とした。 主階段を昇降口に近接して設け、学年のまとまり近くにも階段を設け、各普通教室からの複数の動線を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> 東西のアプローチに面し、外部大階段と校庭の近くに配置した。 主階段は昇降口正面とし、東西にも階段を設け、各普通教室からの複数の動線を確保した。
開放諸室 (動線、セキュリティライン)	<ul style="list-style-type: none"> 開放諸室は地下1階に配置した。 体育館開放利用は校舎とエリア分けができるように廊下の途中にセキュリティライン設けて区分し、校庭側の専用玄関より入退利用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 開放諸室は地下1階及び1階に用途に応じて配置した。 体育館開放利用は校舎とエリア分けができるように廊下の途中にセキュリティライン設けて区分し、校庭側の専用玄関より入退利用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 開放諸室は地下1階に配置した。 体育館は教室群から離して配置し、セキュリティラインが明確になるようにした。
学童クラブ (動線、運営方法)	<ul style="list-style-type: none"> 校庭に面して学童クラブを置くことを考慮し、1・2階に分散配置とした。 校庭側に専用玄関を設け、上下の動線用に専用階段を設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学童クラブは地下1階にまとめて配置し、校庭へは外部階段よりアクセスする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学童クラブは地下1階にまとめて配置し、校庭へは外部階段よりアクセスする。
災害時の機能性 (防災倉庫位置、車両動線)	<ul style="list-style-type: none"> 体育館と校庭を連続させ災害時の利用に配慮した。緊急車両等は西側道路から校庭に入場が可能である。 学校防災倉庫は2階に設置した。 地域用災害備蓄倉庫は地下1階東側道路側に配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育館と校庭を連続させ災害時の利用に配慮した。緊急車両等は西側道路から校庭に入場が可能である。 学校防災倉庫は2階に設置した。 地域用災害備蓄倉庫は地下1階東側道路側に配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育館と校庭を連続させ災害時の利用に配慮した。緊急車両等は西側道路から校庭に入場が可能である。 学校防災倉庫は1階及び2階に配置した。 地域用災害備蓄倉庫は地下1階東側道路側に配置した。
バリアフリーへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階から4階に至る主階段をEVと共にコーナー部に配置し、東側からの利用に配慮した。地下北側エリアからの車いす利用者の動線として北側管理諸室エリアの地階1階と1階との間にEVを設置した。 各案の共通事項として、体育館の時間外利用については一般車いす利用者の東側からのアプローチについては今後の検討課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階から4階に至る主階段をEVと共に中央部に配置し、車椅子利用者の動線を確保した。地下北側エリアからの車いす利用者の動線として北側管理諸室エリアの地階1階と1階との間にEVを設置した。 各案の共通事項として、体育館の時間外利用については一般車いす利用者の東側からのアプローチについては今後の検討課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階から4階に至るEVにより、車いす利用者の動線を確保した。 各案の共通事項として、体育館の時間外利用については一般車いす利用者の東側からのアプローチについては今後の検討課題である。